

「婚礼の礼服」
聖書箇所：マタイの福音書22章1-14節

【1】最も優先すべきこと

- ・結婚の披露宴に招待された客のたとえ
 - 王自らが準備した披露宴
 - 招待客の反応
- ・「招待を拒否した者たち」

【2】良い人でも悪い人でも招かれている

- ・王はすべての者を招くことにした
 - 道で出会った人すべての者
 - 「良い人でも悪い人でも」(マタイ 21:10)
- ・客でいっぱいになった披露宴
 - 「婚礼の礼服」を着ていない人
 - 「婚礼の礼服」が意味すること

▷全ての人に分け隔てなく披露宴に招かれました。その招きに応える者は、自分を招いた王のことを思い、招かれた場所にふさわしい服を着ることが求められたのです。

【3】婚礼の礼服

- ・アドベント（降臨節）
 - 「現れ、来臨」(ラテン語)
 - イエスの誕生(初臨)を待ち望む期間であると同時に主の再臨への備えをする期間
- ・使徒パウロの勧め
 - キリストの身代わりの死を信じるキリスト者：「…あなたがたは古い人をその行いととともに脱ぎ捨てて、新しい人を着たのです。」(コリタイ 3:9-10a)
- ・主の再臨に備える
 - 「——見よ、わたしは盗人のように来る。裸で歩き回って、恥ずかしい姿を人々に見られることのないように、目を覚まして衣を着ている者は幸いである——」(黙示録 16:15)

▷王の招待を受けた者として、救いの衣をまとい主が再び来られるのを待ち望みましょう。

